

住みよいまちづくり情報誌

Vol.57

令和6年3月26日

発行 住みよいまちづくり新荘会
(水戸市新荘市民センター内)
(〒310-0036) 水戸市新荘2-11-2
Tel.029-221-7851
責任者 住みよいまちづくり新荘会
会長 川又 一郎
編集 新荘会広報部
印刷 常磐総合印刷株式会社
題字・坂 俊治

新荘学区の常住人口 世帯数 2,921

男 2,674 女 2,835 合計 5,509 (令和6年2月1日現在)

年齢別人口

0～14才 503 (9.1%)

15～64才 3,100 (56.3%)

【参考値】

65才以上 1,906 (34.6%)

(令和6年2月1日現在)

5年ぶり開催

新荘ふれあいまつり

3月3日(日)、新荘市民センターにおいて「新荘ふれあいまつり」が5年ぶりに開催され、温かい晴天のなか、延べ3百人の地域の皆様が参加し、おまつりを楽しみました。

ホールにおいて開会式に続き定期講座・利用団体計11の発表が行われ、小会議室では指圧体験教室、和室では石州流茶道、市民サロンではバザー、調理室では豚汁販売、駐車場では肉まん、たい焼きなど5つの模擬店販売が、それぞれ行われました。

発表会のあと、ホールにおいてバザーなどの収益金贈呈式が行われ社会福祉協議会新荘支部に寄贈されました。また、最後のお楽しみ抽選会ではホール満場のなか、一等賞から十等賞までの数多くの賞品が当選者に渡り、盛り上がりのうちに閉会となりました。



市民サロンでの盛況のバザー



満場のお楽しみ抽選会



発表会(童謡クラブ)

新荘会ホームページの紹介

新荘会や関係団体からの回覧等のお知らせをいち早く掲載しますのでご利用下さい。



名称「水戸市新荘地区地区会
住みよいまちづくり新荘会」

住みよいまちづくり新荘会 検索

※検索のほか、QRコードからもアクセスできます。



大津順一郎様 受賞

中村 周幸様(元山町四区中部)
吉成 保一様(元山町借家)

2月28日(水)、「市民の集い」が新会場の水戸市民会館ユードムホール(中ホール)において実施され、新荘地区では、次の方々が永年勤続町内会長・自治会長ほう賞を受賞されました。

・三十年勤続

大津 順一郎様(柳小路)

・十年勤続

令和5年度

水戸市ほう賞受賞者



ダンススポーツ



フォークダンス



コーラス (合唱)



歌謡 (歌唱)

新莊 ふれあいまつり

発表会、その他一部紹介



模擬店 (肉まん、ポップコーン、他)



着付け (帯結び)



はまゆう会 (民舞)



和宝会 (連吟、仕舞)



お茶席 (石州流茶道)



太極拳 (演舞)



踏愛会 (ダンススポーツ)



友美会 (民謡)



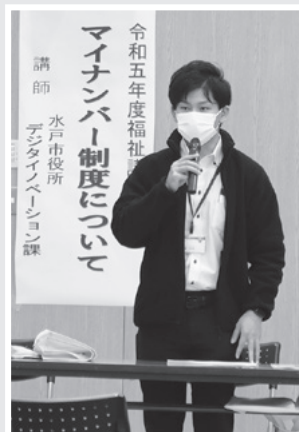
模擬店 (たい焼き・焼きいも)

2月28日(水)、令和5年度新莊地区福祉講演会が行われ、マイナンバー制度について市デジタルイノベーション課の江幡氏に解説していただきました。

内容は、マイナンバーの利用範囲・利点やマイナンバーカードの申し込み方法。このカードによる便利サービスとして、コンビニ交付やマイナポータル(行政運営オンラインサービス)、健康保険証利用、公金受取口座利用及びスマホ利用。最後にセキュリティ対策や詐欺防止について説明いただきました。詳しくは講演資料をご覧ください。

令和5年度 福祉講演会

演題「マイナンバー制度」



講師の市デジタルイノベーション課職員

令和5年度

新莊地区市民運動会

開催

(第62回 水戸市体育祭)

10月7日(土) 午前、残暑厳しい好天のなか新莊小学校校庭において、令和5年度新莊地区市民運動会が川又一郎実行委員長のもとスポレク部計画により、開催されました。

大会は、長い間芝生を養生し綺麗になったグラウンドで行われ、競技は昨年度同様、午前中に個人種目のみで行いました。

参加者は昨年よりやや少ない400人程度に留まりましたが、小学生が昨年より多く参加しました。



親子で仲よく



みんなが楽しんだパン取り競争

また、新種目が加わったことで、子供から大人まで楽しく取り組み、運動会が大変盛り上がりしました。

令和5年度
第2回

ユニカール大会で和気あいあい



結果

優勝	横山はな・袴塚孝太・横山ひおりチーム
二位	竹貫純子・樺沢庸平・龍崎正紀チーム
三位	中村哲也・塙俊夫・三田部志げチーム
四位	寺門優季・寺門るい・山部正彦チーム



決勝及び3位決定戦

2月18日(日)、新莊市民センターにおいて26名が参加してユニカール大会が行われ、8チームにより1チーム3〜5試合の和気あいあいゲームを楽しみました。

新莊地区 エコリサイクル研修会

1月17日(水)、晴天に恵まれた日、新莊地区エコリサイクル研修会が33名が参加して行われました。

研修会は午前、桜川市の雨引観音を参拝した後、午後、八千代町にある関東リサイクル工場「エフピコ」を見学しました。



使用済みトレーの選別作業状況

この関東リサイクル工場は、国内シェア4割を占める発砲スチロール食品トレーのトップメーカーで、この工場では、回収した使用済みトレーからエコトレーの原料を作っており、その工程を見学しました。その工程では、最初に使用済みトレーを多くの人手によって丹念に選別作業を行った後、何度も洗浄、粉砕を繰り返します。日頃使っている食品トレーが大変な労力で作られている状況を目の当たりにして、いかに資源物回収が大切かを再認識するとともにリサイクルの仕組みを学ぶことができました。

「関東リサイクル工場「エフピコ」を研修して



新莊地区エコリサイクル研修会参加者

新莊地区歩く会

紅葉の偕楽園と 千波湖地域の 水戸路を歩く

11月12日(日)、新莊地区歩く会が、雨模様の天候のなか、偕楽園と千波湖地域において実施されました。

参加者は天候の影響もあって37人で、登り下りのある約9キロの道のりを約3時間で歩きました。歩数は約1万5千歩でした。

コースは、8時半新莊市民センター出発後、偕楽園表門から本園を通って東門を抜け、七曲坂を下って好文茶屋前で小休止。そ

の後、千波湖をマイペースで一周し、ザンギ館偕楽園別邸前を通過し公園センターで休憩。最後は、紅葉にはまだ早いもみじ谷で記念撮影し歴史館のいちょうまつりを見て、市民センターへ。

市民センター到着後雨が降り出し、各自弁当を受け取り自由解散となりました。



偕楽園もみじ谷にて

特別
寄稿
新莊小学校
校長 千ヶ崎高志

地域の教育力



入学式



持久走大会表彰式

先日、地域の方々をお招きして、児童と一緒に給食を食べていただきました。私もランチルームにお邪魔して、男の子二人の間に「給食のメニューで一番好きなのはなに？」「カレーです。」「給食のカレーはおいしいよね。」「お家のカレーとどっちが好き？」「どっちも大好きです。」「おかわりする？いつもいっぱい食べるのかな？」「いつもたくさん食べています。」「好き嫌がなく、しっかりと食べるのはとてもいいこ

とだね。えらいねー。」

給食では、いつもだいたいこんな感じの会話があります。向かいの席の女の子たちは目線を下げて話に入りません。好き嫌いがあるのでしよう。ちよつと気まずい雰囲気です。こんな時はそつとしておいてあげます。

その時、女の子たちの間に座っていた女性のお客様が子どもたちに話しました。

「わたしは、小学生の時は好き嫌いばかりで、給食はいつもたくさん残していたわ。」

「でも大丈夫なのよ。大人になると意外と食べられるようになるものなのよ。心配ないわ。」

女の子たちの顔が上がり、明るい表情に変わりました。私も助かりました。

好き嫌がなく、しっかりと食べることがよいことだと、子どもたちは知っています。あるべき理想の姿を教えていくことは学校の大事な役目です。テストでは満点をとる方がよいし、友達とは喧嘩せず仲よくする方がよく、給食は残さず食べる方がよいと伝えます。



ランチ交流会



昔遊び交流会(ベーゴマ)

そして、そこが学校の弱いところ。

「色々な人がいる。」「正解などない。」「幸せは人それぞれにある。」「答えは一つではない。」など、人が幸せに生きていくために必要な思いを学校はうまく伝えることができません。学校は常に理想を求め、子どもたちは理想の姿に向けて努力を重ねながら思い通りにいかないことに悩みます。

しかし、地域の皆さんが、いろいろな人がいていいと子どもたちに伝えてくれています。地域社会は幸せな暮らしを求める場所であり、人によってそれぞれの幸せをつくっています。理想通りでなくても大丈夫、心配ない、幸せになれる、と伝えてくれています。そして、将来自分たちが暮らす社会は安心できる場所だと、子どもたちは感じています。

新莊地区の方々の教育力に支えられて、子どもたちはすくすく成長しています。

令和5年度 新莊地区

『福寿のつどい』開催

9月18日(月) 敬老の日、令和5年度新莊地区「福寿のつどい」が残暑厳しい晴天のなか、新莊市民センターにおいて青木実行委員長主催のもと開催されました。

この会は、昨年度から新しい敬老会の事業として実施されているもので、75歳、80歳、85歳及び90歳以上に達する方々(4月～翌3月生まれ)を対象としています。

今回、該当の招待者453人中、52名の方に参加していただきました。

前半の式典では、高橋靖水戸市長はじめ多くのご来賓の方々に祝辞をいただき、青山道隆様に参加者を代表して謝辞をいただきました。

後半のアトラクションでは、山崎薫様に歌謡曲を披露していただいたほか、マンドリンクラブのラ・ジュネス様に、「懐かしの昭和ラ・ジュネス様」と題し数多くの演奏をしていただき、観客は感動しておりました。会の最後は支援に当



マンドリンクラブ「ラ・ジュネス」様による合奏



山崎薫様による歌謡曲独唱

たった実行委員29名と共に「ふるさと」を合唱し、和やかに終了しました。

新莊市民センター 新任あいさつ

九月一日付で着任しました。地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。ご指導よろしくお願い致します。



猿田仁美

編集部委員

川又健志・塩井雅子・岩淵延子